

# 子どもたちの相互交流を描く実践記録

石井 崇史

今年度の東京支部研究部の研究テーマは「**教師の仕事の真ん中に実践記録を**」です。民間研の研究には欠かせない実践記録ですが、日常的な学校現場では指導案は書けど、実践記録を書くことはほとんどありません。では、なぜこれほど実践記録を民間研では大切にしてきたのでしょうか。

2021年度第1回目の研究部主催学習会は、講師に**石井崇史さん**をお迎えし、実践記録について、改めて学びたいと思います。石井さんは若い頃から民間研でさまざまな実践記録を書き、学習会で検討し、出版物にも掲載されてきました。これまでの経験から実践記録の教師としての、また研究活動としての意味を語っていただきます。石井さんはこれまでの多様な実践記録を書かれる中で、「**子どもたちの相互交流を描くこと**」に**こだわりたい**と考えているそうです。なぜ、そのように考えに至ったのか、詳しく学びたいと思います。

ぜひご参加下さい！



たのスポ2021年夏号にも石井さんの原稿が掲載されています。



○日時 10月16日(土)

14:00~

○オンライン学習会(zoom)



○参加申し込み(無料)

参加希望の方は下記メールアドレスまでお知らせ下さい。ID とパスワードをお送りします。

[nishidakei030@yahoo.co.jp](mailto:nishidakei030@yahoo.co.jp)

(研究部長 西田 まで)

※東京支部会員の方は、特に事前の申し込みは必要ありません。学習会 前にメールにてID とパスワードをお送りしますので、ご自由にご参加下さい。

## 石井崇史さん



小学校教員

【メッセージ】

同志会の皆さんお久しぶりです。現在2児の育児に奮闘中です。久しぶりに研究できる機会を与えてもらい感謝しています。よろしくお願ひします。